

# ～「高校生を“夕張という地域”で育てる」座談会を行いました～

－夕張高校魅力化プロジェクト－ 市企画係 ☎52-3141

## 『夕張高校魅力化プロジェクト』とは

夕張市では生徒数が減少傾向にある夕張高校を市内外問わず生徒に選んでもらえる魅力ある高校とするため、公設塾の設置や校内ICTの環境整備、入学支援金やチャレンジ補助金など挑戦する高校生を後押しする『夕張高校魅力化プロジェクト』を推進しています。

## “座談会”開催の趣旨

今後、地域で市外生徒を受け入れるための住環境を検討するにあたり、ご自宅などで高校生を受け入れることができる下宿先や、下宿として活用できる物件について、ご協力いただける方の募集を行っています。

市外生徒を受け入れる住環境に関して、協力したいけど何をすれば良いのか、自分に何かできることはないか、そんな疑問や提案などについて、市民の皆さんと意見交換をすることを目的に座談会を開催しました。

市としては、市外生徒の住環境として「ホームステイ」、「下宿」を想定しています。また食事や移動手段など個別の「支援体制」が必要になってくると考え、以下の3点について意見交換を行いました。

- 日時 令和5年3月19日(日)  
13時30分～15時30分
  - 場所 拠点複合施設 りすた
  - 参加者 18名【市職員・高校・公設塾  
・町内会・保護者・高校生など】
- ※10代から70代まで幅広い年代の方にご参加いただきました。



### ホームステイ ※

※市外生徒を一般家庭で受け入れること

### 下宿

- ・安心安全な生活に必要な最低限のルールは必要。
- ・学校の課題や探究活動の推進にWi-Fiは必須。
- ・細かい決め事や必要経費は、受け入れ家族と市外生徒の保護者で決めても良いのではないかな。
- ・市外生徒の保護者に市から一定額の助成が必要ではないかな。
- ・生徒に何をどこまでしてあげればよいか不安がある。
- ・生徒に夕張での生活を、協力者に受け入れの体験してもらうために、短期のホームステイをしてみてもどうか。
- ・子育て卒業世代だけではなく現役世代も対象してみてもどうか。
- ・3年間固定ではなく、単年での変更やお試し入居を可能にするなど柔軟な対応が必要。

- ・下宿生同士で交流できるリビングがあった方が良い。
- ・学校の課題や探究活動の推進にWi-Fiは必須。
- ・食事の3食提供が負担なので、昼はお弁当でも良い。
- ・下宿の運営には、役割分担を明確にした体制の構築が必要。
- ・土日祝日・長期休暇時の対応の検討。
- ・夕張市のイベントや文化を学ぶ機会があれば良い。
- ・関係者間の情報交換の場が必要(月1程度)。
- ・高校から徒歩圏内が望ましい。
- ・3年間固定ではなく、単年での変更やお試し入居を可能にするなど柔軟な対応が必要。

## 皆さまからの意見(抜粋)

### 支援体制

- ・1人ではなく、地域全体が里親になるくらいの思いが必要。
- ・募集のチラシに「責任を持って」と書かれていたが、言葉が重すぎて、尻込みしてしまう。

- ・市外生徒と市内から進学する生徒への支援は平等とすべき。
- ・農家と連携して何かできないか。せっかく夕張に来たのならメロンに関わってほしい。
- ・協力者の得意分野をリスト化して生徒に選んでもらう。
- ・受け入れ環境全体を専門とするコーディネーターが必要。

### 意見から見えてくる課題

- 関係者間(市・学校・地域など)の目標の共有
- 協力者に対する支援(負担軽減対策、助成など)の検討、事例の調査
- 支援体制の組織的な運用
- 受け入れ住環境や支援体制を専任とする人材が必要

### 今後の方向性について

今回いただいたご意見を参考としながら、夕張ならではの受け入れ住環境を構築していきます。結果については、改めてご報告させていただきます。意見や質問については、引き続き受け付けておりますので、お気軽にお問合せ下さい。座談会にご参加いただいた市民の皆さま、ご協力ありがとうございました。